提供者名：福岡県	福岡県開放特許	２０２２－００２

タイトル：ゲノム中の遺伝子変異（一塩基多型）の簡易で迅速な判定方法

技術分野	利用分野・適用製品	情報メモ
□電機・電子　□機械・加工 □情報・通信　□化学・薬品 □有機材料　□無機材料 □金属材料　□輸送 ■食品・バイオ　□生活・文化 □土木・建築　□繊維・紙 ■農林・畜水産　■医療・介護 □その他（　　）	・遺伝子関連試薬 ・表面プラズモン共鳴測定装置 ・遺伝子変異判定装置	詳細資料：■有　□無 サンプル：□有　■無 見　　学：■可　□不可 その他：

従来技術の課題・問題点

従来一塩基多型の判定は、RFLP（制限酵素断片長多型性）法、ダイレクトシークエンス法、TaqMan 法、次世代シークエンス法などで行われているが、適用範囲が限られる。また、多くのコストや時間がかかるなどのデメリットが存在する。

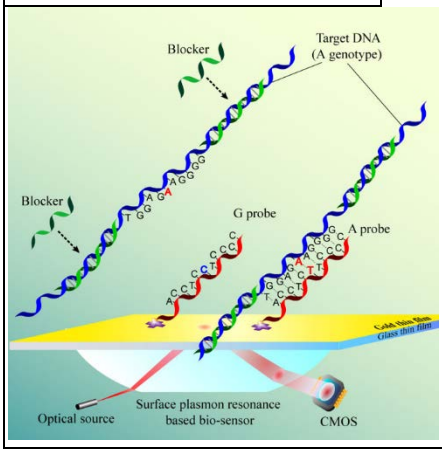
本発明の効果・特長

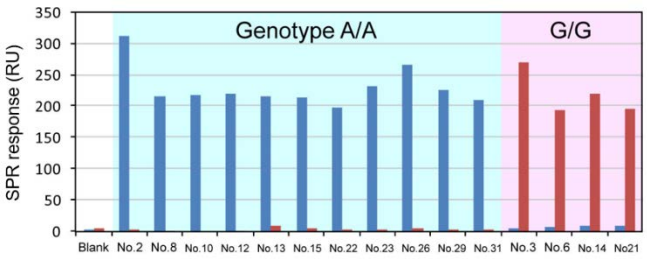
本発明は遺伝子変異当該部の PCR 産物を表面プラズモン共鳴測定装置に投入することで低コストで短時間に遺伝子変異の判定が可能であって、また、判定に際しては通常の機器操作経験があればよく、特段高い習熟性を要しない簡便な判定方法である。

技術概要（構造・動作等）

一塩基の違いを明確に判定するためになるべく短い増幅産物を用意し、ブロッカーと呼称する結合補助剤を添加し、表面プラズモン共鳴測定装置で変異遺伝子と正常遺伝子の相補鎖との結合量の差を見ることで、一塩基置換を確実に判定できる方法。

図・特記事項・その他





上図：一塩基置換が A のものと G のものが明確に識別できている。

左図：表面プラズモン共鳴測定装置で変異遺伝子を判定する様子。

主たる提供特許	関連特許番号
登録番号／公開番号：特許第 5526337 号 出願日：平成 21 年 3 月 4 日（2009 年） 発明の名称：核酸のハイブリダイゼーション方法及び一塩基多型の判定方法 権利者／出願人：福岡県	特になし

ご連絡先ご記入のお願い

下記の表に、ご連絡先を記入してください。
本連絡先は、本案件について、知的所有権センターに問い合わせがあった場合に、特許権者また は出願人に対してご連絡等させていただくために使用するもので、目的外の使用はいたしません。
なお、複数の寄稿をされる場合は、そのうちの一つについて記載していただければ結構です。

ご連絡先	
団体名	福岡県工業技術センター
担当者名	企画管理部　奥村史朗
郵便番号	818-8540
住所	福岡県筑紫野市上古賀 3-2-1
電話番号	092-925-5977
FAX 番号	092-925-7724
メールアドレス	sokumura@fitc.pref.fukuoka.jp

※FAX、メールアドレスについては、お持ちでない場合は空白にしてください。